

廿日市市 産業振興ビジョン

Hatsukaichi City Industrial Development Vision

概要版

挑戦! はつかいち広域経済都市圏の形成

廿日市市は 産業振興の推進を通じて
地域の経済活動を後押しし
事業者の生産性の向上が図られ
市内の雇用創出や所得向上に結びつくことにより
市民が暮らしやすい持続可能な地域社会の
実現をめざします

平成28年(2016年)3月

廿日市市

策定にあたっての基本方針

策定の趣旨 これまでの取組成果をもとに、市内の商工業、農林水産業、観光関連産業等の連携をより一層推進し、本市の経済的自立性を高めるため、本市の産業振興の方針及び戦略的取組を明らかにする「廿日市市産業振興ビジョン」を策定します。

本市の産業振興は、事業者の創意工夫及び自主的な経営努力を尊重し、事業者、産業経済団体、国・県の産業支援機関、金融機関、大学、NPO等のまちづくり活動団体、市民及び行政が相互に連携し、協働することにより、事業者の活力が最大限に発揮され、地域経済の持続的発展が図られることを本旨とします。

計画期間 平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とします。また、5年間の目標を設定し、毎年度、施策、事業等の点検、評価や施策等の見直しを行います。

策定方針 これまでの取組を通じた市内事業者等の連携の気運の高まりと、本市の産業構造を踏まえた、移出産業(地域外へ財・サービスを移出する産業)の強化及び地域資源を活用した農商工連携による新たな経済循環の創出の必要性から、産業連関の強化による産業振興をビジョンの策定方針とします。

産業振興の基本認識

本市の産業振興の可能性 ～社会構造の変化を産業振興の可能性へ～

本市をとりまく社会構造が変化するなか、その変化を産業振興の可能性に結び付ける視点が重要です。

ベッドタウンから、暮らしと多様な仕事・働き方が実現する本拠地としてのホームタウンへの成長・発展の可能性

昼間人口(地元シニアや就労者、観光客等)が増加する中、市内への集客や購買力の流入をとらえた産業振興の可能性

市内外の地域特性、地域資源、ネットワーク等を地元企業・事業者・生産者が経営に活かすことで経済循環や外貨獲得が実現する可能性

産業振興における課題設定 ～本市が取り組むべき5つの課題

本市産業の特性と現状及び産業振興の可能性を踏まえて、本市が取り組むべき5つの産業振興の課題を設定します。

●地域に密着した産業の振興

少子高齢化、人口減少による購買力の減少及び住宅団地の高齢化や中山間地域の過疎化による地域経済への影響が懸念される中、地域経済や暮らしを支える地域に密着した産業を振興することが課題

●宮島ブランドを活用した外需開拓

世界的観光地である宮島ブランドを活用した外需開拓が課題

●オープンイノベーションによる市内企業等の競争力強化

産業、雇用、所得を安定的に維持拡大させていくためには、現場と知財を結ぶ産学連携のネットワークを活用したオープンイノベーションにより、主要製造業(食品、木材、機械・化学)等が競争力を強化し、成長することが課題

●廿日市の未来を育むしごとづくり・人づくりの推進

通勤や転勤、移住、そして、若者の市内就職等の観点からも、廿日市の未来を育むしごとづくりと人づくりが課題

●地域経済の成長をめざす広域経済圏の確立

事業者の経済活動は、市内にとどまらず近隣や県内外各地との取引へと広がっており、地域経済の新たな成長につながる広域経済圏を確立することが課題

本市産業の将来イメージ

はつかいち広域経済都市圏

ヒト(通勤者や消費者、観光客)、モノ(商品やサービス)、コト(事柄、ノウハウ)、カネ(消費や投資)、情報(知財やネットワーク)が循環する経済都市への成長・発展をめざし、近隣の都市や中山間地域、観光地等と連携した「はつかいち広域経済都市圏」の形成に向けて挑戦します。

広域経済都市圏のエリアは、東は広島市、西は岩国市、北は西中国山地(島根県)と想定します。

産業振興の基本方向

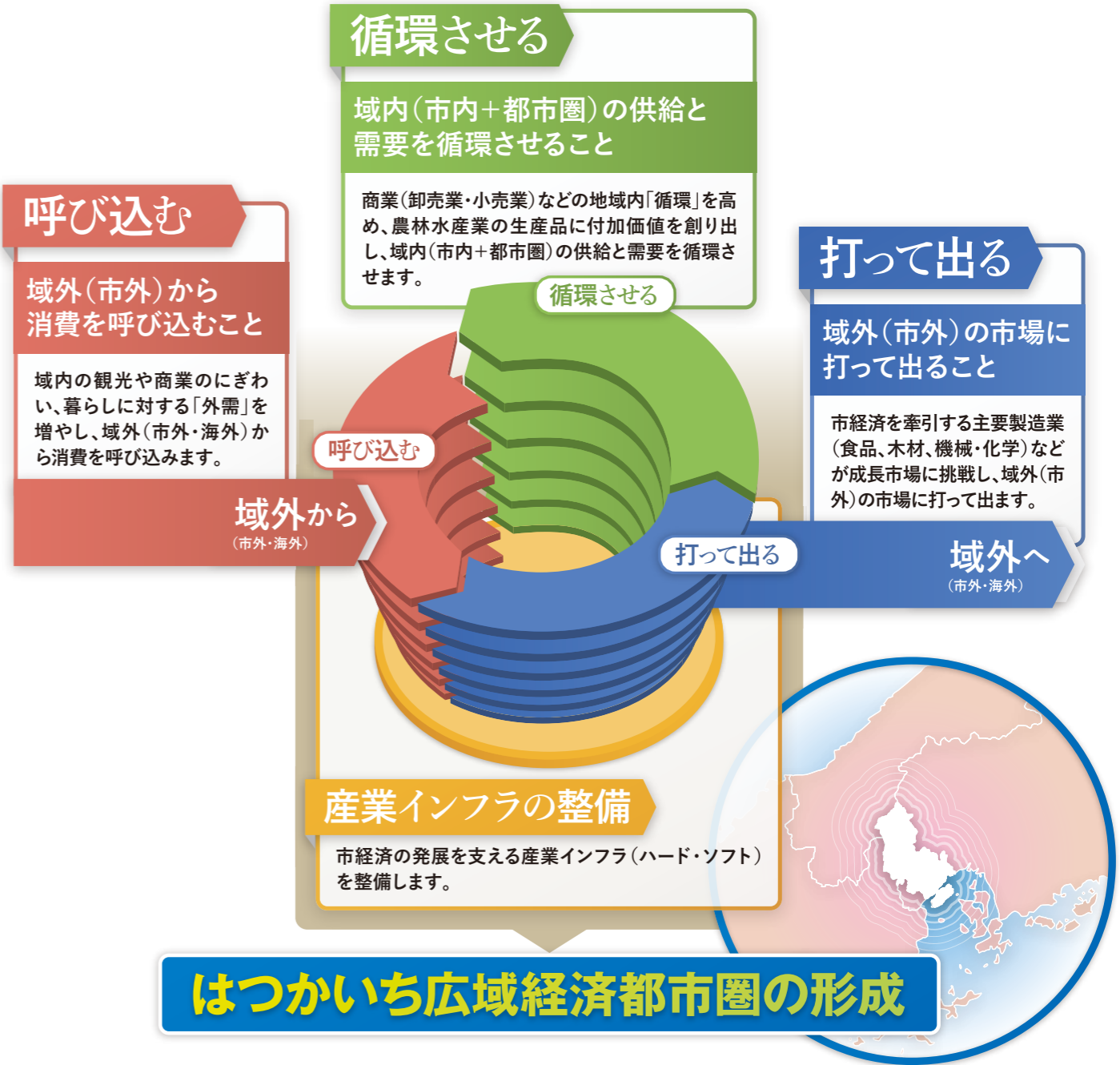
将来イメージを実現するため、次の4つの基本方向に沿って産業振興を推進します。

循環させる

呼び込む

打って出る

産業インフラの整備



産業振興の横断的戦略

産業振興の4つの基本方向に沿って、様々な産業振興施策を融合・連携させて既存産業の競争力強化・成長分野への挑戦を進めるため、「横断的戦略」を設定します。
「横断的戦略」は、小規模事業者から大企業まで参画することができ、多様な産業連関の創出・強化や、外貨獲得による地域経済成長への挑戦が期待される領域を対象として設定します。

産業振興の横断的戦略

循環させる

戦略① 市内を縦断する食産業「フードバレーはつかいち」の創出

農林水産事業者・食関連事業者・観光関連事業者、知財の連携による、新たな食の循環の創出

将来像

農林水産事業者・食関連事業者・観光関連事業者が、高原の軟弱野菜から瀬戸内の水産物まで、標高差のある本市で生産される多彩な食資源や市内・近郊に立地する大学等の知財の集積を活かし、消費者・観光地・都市における多様な食需要に対応できる生産・流通・製造現場のイノベーション、商品・サービスの付加価値向上に取り組み、市内を縦断する新たな食産業のネットワーク「フードバレーはつかいち」が市内・都市圏内に形成されています。



主な取組方向

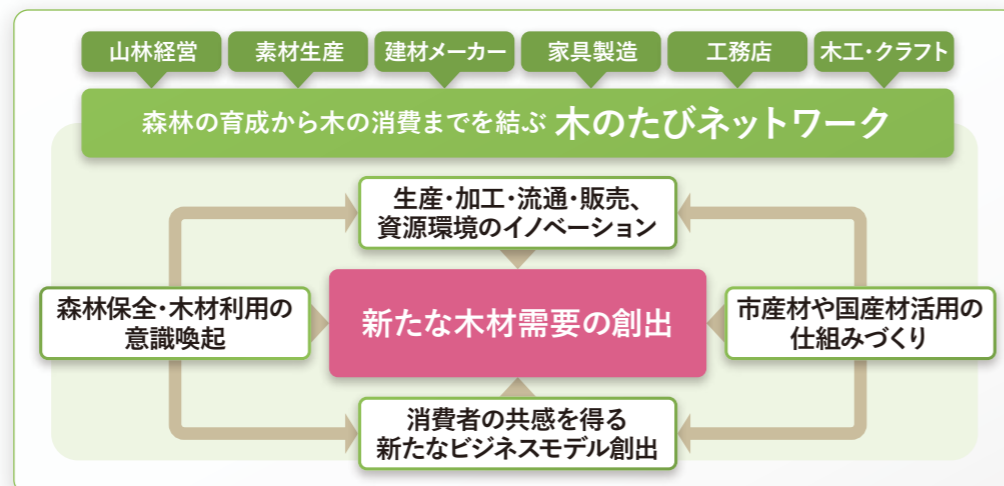
- 市内・都市圏内の取引を盛んにする流通・販路の確立
- 商品・サービスの付加価値を高める地域資源活用や6次産業化
- 生産や製造の現場のイノベーションを進める農商工連携
- 「食育」の推進により、地産地消や健康づくりへの理解が深まることによる地場の農林水産品の利用拡大
- 生産や製造の現場における産業体験事業、環境学習の推進
- 情報通信技術(ICT)を活用した食の循環にまつわる情報発信やマルシェの開催による交流人口の増加

戦略② 森林の育成から木の消費までを結ぶ「木のたびネットワーク」の形成

森林の育成、生産・流通・加工・販売、資源循環のイノベーションによる、市産材の生産・加工量の安定化と新たな木材需要の創出

将来像

市内の多様な木材関連事業者が連携し、森林の育成から木の消費までを結ぶ「木のたびネットワーク」が形成され、森を育むとともに、生産・加工・流通・販売、資源循環のイノベーションに取り組む事業者が増え、市産材の生産・加工量の安定化や新たな木材需要の創出が図られています。



主な取組方向

- 「木のまち廿日市」を意識した森林保全、木材需要等への意識喚起
- 市産材活用の仕組みづくり(木の駅、公共建築物、バイオマス)
- 関連産業における生産・加工・流通・販売、資源循環のイノベーションの促進
- デザイン性やストーリー性など消費者の共感を得る新商品開発や販売手法による新たなビジネスモデルの創出
- 生産や製造の現場における産業体験事業、環境学習の推進
- 木を使ったライフスタイルの提案

産業振興の横断的戦略

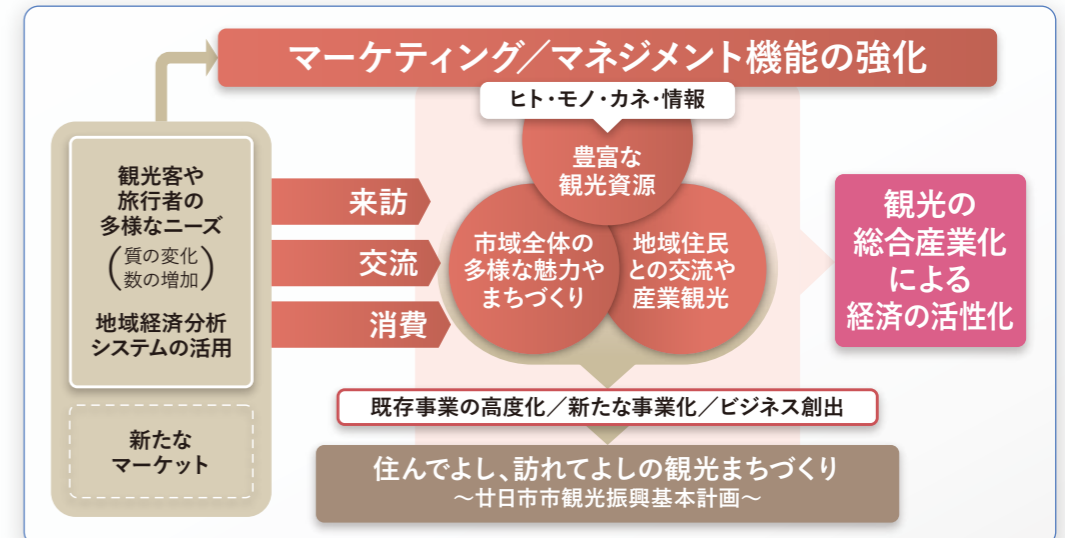
呼び込む

戦略③ 観光まちづくりのマーケティング/マネジメント機能の強化

マーケティング/マネジメント機能の強化による、住んでよし、訪れてよしの観光振興基本計画の着実な推進

将来像

地域経済分析システムの情報を活用したマーケティング等に基づき、観光消費に結びつく既存事業の見直しや、新たな事業化・ビジネス創出が増え、観光に関するヒト・モノ・カネ・情報のマネジメントのもと観光消費が拡大し、幅広い産業領域、市域全体の魅力やまちづくりが効果的に結びついて観光の総合産業化が図られ、住んでよし、訪れてよしの観光まちづくりが進んでいます。



主な取組方向

- 観光資源の実態や観光客のニーズ、志向の把握、分析及び情報提供
- 観光に関するヒト・モノ・カネ・情報の総合的なマネジメント
- 旅行者と地域住民との交流を生む仕掛けによる観光とまちづくりの融合
- 農林水産業や商工業の生産の現場を魅せる産業観光など、観光への新たなマーケットの取込

産業振興の横断的戦略

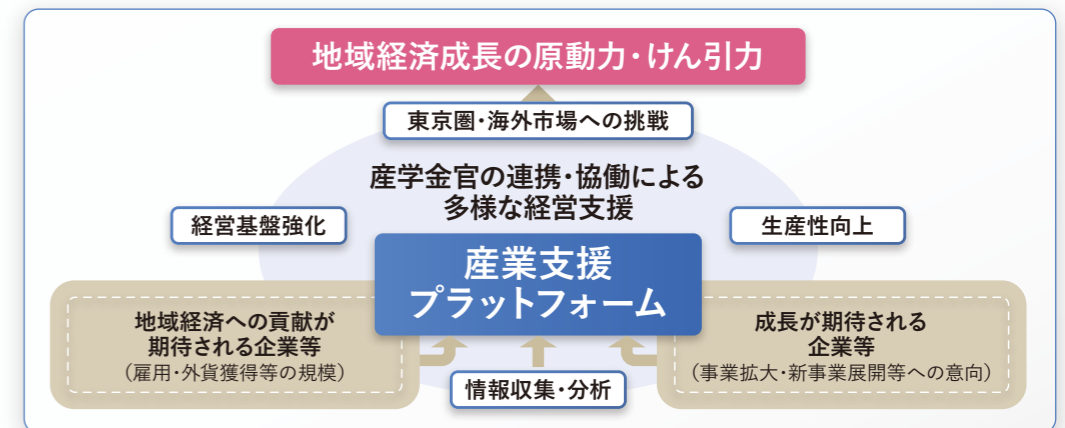
打って出る

戦略④ 産業支援プラットフォームの構築、経営支援による企業等の生産性の向上

主要製造業を中心とした成長期待産業、地域経済貢献期待産業への経営支援による、市内企業等の競争力強化

将来像

主要製造業(食品、木材、機械・化学)を中心に、近接する国・県の産業支援機関、金融機関や大学の知財を活用して、経営基盤の強化、生産性の向上を図る成長意欲のある企業が増え、東京圏や海外市場へ挑戦する企業等が地域経済の成長の原動力、けん引力となっています。



主な取組方向

- 産学金官が連携し、協働する産業支援プラットフォームの構築
- 地域経済貢献期待企業、成長期待企業を発掘する企業訪問等による情報収集・分析の強化
- 国・県レベルの支援機関との連携による企業等の生産性向上
- 中小企業基盤整備機構等との連携強化
- 中小企業施策(農商工連携支援、地域資源活用支援、新連携支援)の推進

産業振興施策の推進方策

総働によるビジョン推進

本市の産業振興は、産業支援プラットフォームを中心として、事業者、産業経済団体、国・県の産業支援機関、金融機関、大学、NPO等のまちづくり活動団体、市民及び市の多様な主体の「※総働（多様な主体による協働）」により、一体的、相乗的に進めます。

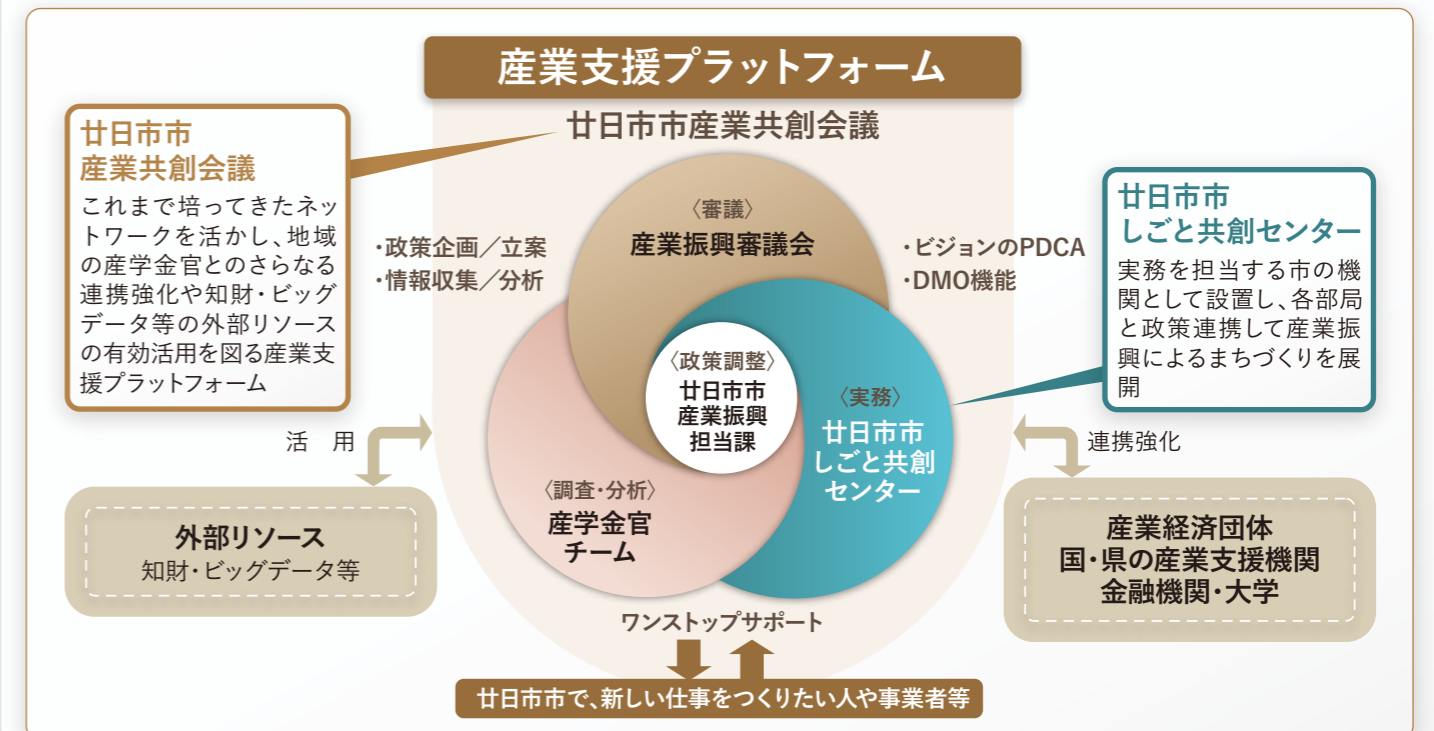
※出典：IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

例 「フードバレーはつかいち」を創出する連携、協働イメージ

連携機関	期待される役割	金融機関	
事業者	■生産者と実需者をつなぐ新たな流通の事業化 ■農林水産事業者と食関連事業者等との積極的な異分野連携 ■観光関連事業を絡めた地域の魅力向上 など	■産業支援プラットフォームへの参画 ■新商品など開発に関する創業支援計画の作成支援 ■「フードバレーはつかいち」を展開する事業者向けの新たな金融商品の開発 など	
産業経済団体	■産業支援プラットフォームへの参画 ■事業者の伴走支援 など	大学等の研究機関	■産業支援プラットフォームへの参画 ■オープンイノベーションによる新商品・サービス等の共同研究開発 ■学生によるセミナー・マルシェの企画・運営 など
国・県の産業支援機関	■産業支援プラットフォームへの参画 ■専門家の派遣 ■農商工連携、地域資源活用による需要の開拓、新連携による新たな事業分野の開拓に関する事業計画作成サポート（中小企業基盤整備機構中国本部との業務連携・協力） ■専門人材の育成（中小企業大学校広島校） など	NPO等まちづくり活動団体	■産業支援プラットフォームへの参画 ■青空市の運営 ■地域での定年帰農のススメ ■環境や食育など、「フードバレーはつかいち」にまつわる交流会の開催 ■集荷・輸送等の中間支援の事業化 など
		市	■産業支援プラットフォームの立上げ ■廿日市市しごと共創センターを市の機関として設置 ■多様な主体との協働のステージづくりやコト起こし など

産業支援プラットフォームの構築

本市の産業振興を効果的に進めるため、産業振興を支援するプラットフォームの組織、体制を拡充し、地域経済情報の収集・分析、政策の企画・立案、ビジョンの進捗管理（PDCA）を行うとともに、DMO機能を備え、ワンストップで産業支援や新しいしごとづくりなどを推進します。



産業振興の横断的戦略

産業インフラの整備

戦略⑥ 生産基盤の整備による農林水産業の生産性の向上

農業基盤、林道、漁港などの生産基盤の整備による、安定的な経営の確立及び生産現場の機能回復、保全

将来像

生産現場の環境改善により、山林や漁場の生産機能が回復、保全され、生産量、流通量が増加するとともに、農業基盤、林道、漁港施設の計画的な整備により、安定的な経営が持続されています。

主な取組方向

- 農道、水路、農業基盤施設の計画的な整備
- 林内路網の計画的な整備
- 漁場と漁港施設の計画的な整備による生産力の回復

戦略⑥ 魅力ある都市基盤の整備と高次機能の導入検討

- 企業活動を支える広域道路網や暮らしを支える生活基盤・交流基盤の整備
- 既存企業の土地需要への対応や企業の本社機能・研究開発機能の誘致

将来像

企業活動を支える広域道路網等や暮らしを支える生活基盤・交流基盤が整備され、既存産業の設備投資や事業拡大、さらには、本社機能等の立地が新たな産業創出の呼び水となり、地域経済が活性化しています。

主な取組方向

- 企業活動を支える広域道路網の計画的な整備
- 暮らしを支える生活基盤、交流基盤の計画的な整備
- 既存企業の土地需要への対応
- 企業の本社機能・研究開発機能等の誘致

戦略⑦ 多様な働き方としごとづくり・人づくり

- 働く人に選ばれる、働きやすい、働き続けられる就労環境づくり
- 地域資源を活かした創業や事業承継、新しい価値を生み出す事業創造
- 地元企業が求める多様な産業人材の育成

1 働きやすい、働き続けられる労働環境の創出

将来像

市内事業者がダイバーシティ経営の考え方が浸透し、子育てや介護等をしながら働くことができる就労環境づくりと働きやすい、働き続けられる労働環境が創出され、多様な働き方が実現しています。

主な取組方向

- 市内経済団体と連携した企業へのダイバーシティ経営の普及

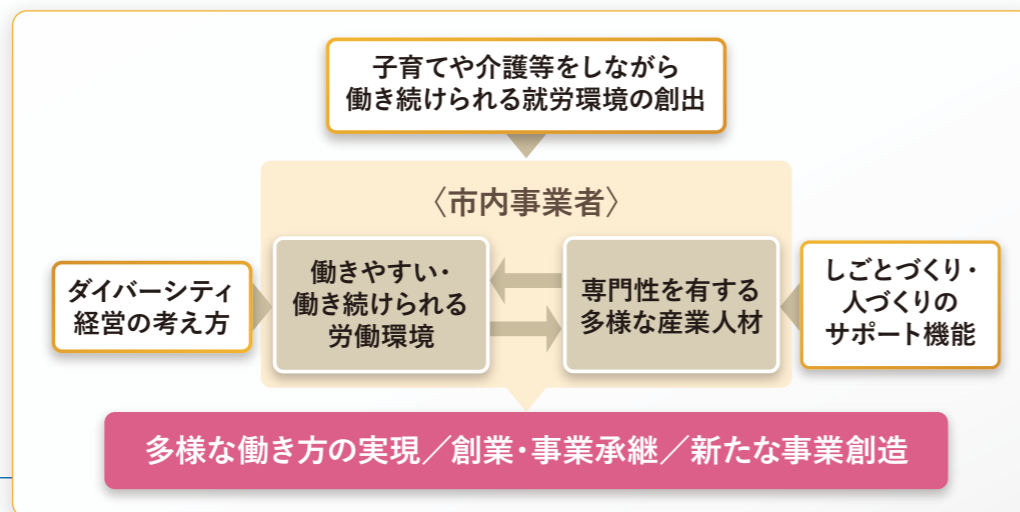
2 産業経済団体、国・県の産業支援機関等と連携した産業振興のサポート体制と人材育成の充実

将来像

市内事業者に対するしごとづくり・人づくりのサポート機能が強化され、地域資源を活かした創業や事業承継、新しい価値を生み出す事業創造が増え、地元企業が求める専門性を有する多様な産業人材が育つ環境が整っています。

主な取組方向

- 産業経済団体、国・県の支援機関、金融機関、大学、NPO等のまちづくり活動団体等と連携した産業振興サポート体制の構築と人材育成の充実



産業振興施策 「横断的戦略」を実現するため、 9つの施策の方向性に沿って、27の基本施策を推進します

施策の方向性	基本施策
1 地域資源活用 地域資源を見える化し、地域資源活用ビジネスや木材関連産業を振興します	① 地域資源を活用した付加価値の創出 ② はつかいちブランドの構築、活用 ③ 地域資源としての木材関連産業の振興
2 にぎわい創出 地域課題解決型ビジネスを促進し、地域に求められる仕事や交流を創出します	④ コミュニティビジネスの創出 ⑤ 地域資源を活かした地元商店街の活性化 ⑥ 集客施設・拠点を活かした「はつかいちマルシェ」の開催
3 観光の総合産業化 幅広い産業領域や多様なまちづくりと融合し、観光の総合産業化を図ります	⑦ 一流の国際観光拠点形成に向けた宮島ブランドの持続・向上 ⑧ 地域の魅力三点セット（交流資源、食事・食材、商品・店舗）の充実 ⑨ 宮島と市内各地をつなぐ観光結節点でのビジネス創出
4 6次産業化 産地・流通のイノベーションにより、廿日市らしい食関連産業の好循環を形成します	⑩ 多様な農業経営者の育成 ⑪ 水産資源のブランド向上 ⑫ 実需に対応可能な流通と販売 ⑬ 廿日市らしい6次産業化による産地振興
5 都商・輸出 製造業の競争力を強化し、東京圏等での販路開拓、ビジネスチャンスを創出します	⑭ 主要製造業（食品、木材、機械・化学）を中心とするものづくりの競争力強化 ⑮ 東京圏での販路開拓や海外ビジネスのサポート体制の強化 ⑯ シティプロモーションの充実による東京圏でのビジネスしやすい環境づくり
6 新事業創出 地域経済データや産学金官ネットワークを活用し、新しいビジネスモデルを創出します	⑰ 新事業創出に向けた産学金官による苗床づくり ⑱ 産学金官の連携による地域経済と市内事業者に関する情報収集・分析・活用
7 創業・承継 企業の発展段階や地域特性に応じ、ワンストップでサポートする体制を構築します	⑲ 廿日市らしい創業支援の強化 ⑳ 事業承継や第二創業等による市内事業所や店舗の存続促進 ㉑ 地元企業が求める人材の確保、育成の仕組みづくり
8 多様な働き方 誰もが「地元で働きたくなる。働き続けたいと思う。」就労環境づくりを促進します	㉒ 働く人に選ばれる職場・事業所づくり ㉓ 子育てや介護等をしながら働き続けられる環境づくり
9 生産基盤・都市基盤の整備 生産基盤や都市基盤を計画的に整備するとともに新たな活力創出基盤の整備に向けた具体化の検討を進めます	㉔ 生産基盤の整備 ㉕ 生産現場の機能保全 ㉖ 幹線道路体系の整備 ㉗ 新たな都市活力創出基盤の整備

廿日市市 環境産業部 産業振興課

〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号 TEL.0829-30-9140 FAX.0829-31-0999

<http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp>